



ファシリテーター養成講座 開催しました!

6月9日(金)から6月10日(土)にかけて、香川大学研究交流棟にて、ビジネスコーチ、ファシリテーターとして活躍されている谷益美さんを講師に迎えて、ファシリテーター養成講座を開催しました。13人の受講者が、多様な関係者が参加する場づくりにおいて参加者の主体性を引き出すコミュニケーションを学びました。

会場: 香川大学研究交流棟6階
第一講義室

講師: 谷 益美 氏 (Office123 代表)

1日目

平成29年6月9日(金)
19:00~21:00



2日目

平成29年6月10日(土)
9:00~18:00



1日目

初日は、ファシリテーション基礎講座の受講生と合同で講座を受講しました。ファシリテーションとは「引き出してまとめるコミュニケーションツール」であり、会議を進めるにあたっては「全体デザイン」と「対話のスキル」が重要であると解説がありました。「伝える」ことは必ずしも難しいことではないが、相手から「引き出す」ことはやってみると難しく、聞き方や態度がポイントとなると説明がありました。また、会議等でのそれぞれの役割に触れ、参加者全員から言葉を引き出すこと、板書など「見える化」しながら進めること、ゴールを明確にすること等ポイントの解説がありました。



2日目

2日目は、1日目の講義を踏まえ、実践による技術の取得が中心の講義でした。

まず、受講者自身が4つのタイプに分け、それぞれの特性を踏まえて「自分たちのトリセツ(取扱説明書)」をつくるというグループワークを行いました。グループワークでは、フレームワークを元に話し合いながらまとめる等、実際に会議を運営しながらファシリテーション技術を学びました。

午後からは、受講生自身が実際に担当している会議内容をテーマに、より実践的にファシリテーションを学びました。受講生が担当している会議を分析すると、参加者の意識が低い、会議の準備が不十分、ゴールや目標が設定できていないなどの課題が浮き彫りになり、講師の助言を受けながら解決方法を学びました。

長時間の講義でしたが、「今日学んだことをそのまま職場での会議で実践したい!」という感想があるなど、受講生はファシリテーション能力の向上を実感していました。



講師から修了生へのアドバイス

会議に参加する人は、正確・能力・スキル等様々な人が集まる場で、それらをまとめる「現場対応力」というのはすぐには身につきません。しかし「ファシリテーション」というこれまで意識していなかったスキルを知り、身につけることで、経験値を高めることができ、それが蓄積されれば対応できることも増えてきます。今日から実践しましょう!